

ふるさととよさが 今と昔

その1 豊栄市役所

■昭和12年ごろ

(葛塚農商学校/昭和12年撮影/米田正作氏所蔵)

昭和22年、新制中学(葛塚中学校)が農商学校内に開校、農商学校が昭和24年3月に廃校となると、その校舎を引き継ぎました。豊栄町役場(現豊栄市役所)はこの跡地を利用して建設されました。



■現在の様子

(豊栄市役所裏/平成16年4月、上の写真と同じ方向から撮影)



■稲荷神社の脇に建てていた旧葛塚町役場

(昭和20年撮影)

昭和10年建造。昭和の町村合併後、豊栄町役場に。昭和37年、現在地に移転・新築し、今に至っています。



現在は車庫が建っている

豊栄は、昭和の町村合併によって生まれた町です。来年は豊栄という名が生まれてちょうど50年。今回は「豊栄の顔」役所の今と昔を写真で振り返ってみました。
昭和30年、葛塚町・岡方村・木崎村が合併してできた豊栄町。庁舎は旧葛塚町役場を使用しました。4年後に長浦村とも合併すると、手狭で老朽化した庁舎を新築することになり、昭和37年、現在地に新庁舎が完成しました。それが今の市役所本館です。敷地は葛塚農商学校跡地を利用、今も当時の学校の門柱が残されています。その後、平成6年には新館が増築されています。



20代の農業者グループ設立

4月8日(木)、水の駅「ビュー福島潟」で青年農業者グループ「豊栄101(いちまるいち)」が設立記念式を行いました。農業を一生の仕事と選んだ20代の農業者9人。相互交流などを通して豊栄の農業発展に貢献することを目指しています。101は、安全安心な農産物100に付加価値1をプラスするという意味で名づけられました。



イエ〜イ!

4月25日(日)、オープン7周年を記念して遊水館が無料開放されました。

晴天に恵まれたこともあり、小学生を中心に350人がプールを利用、152人が木舟こぎを体験。プールの中には一日中元気の歓声がこだましました。



子どもたちの安全を守る

葛塚小学校は、長浦地区と葛塚地区の子どもたちが通学しています。この子どもたちの安全を確保するため、双方のコミュニティ委員会が呼びかけ4月6日(火)葛塚小学校区地域安全協議会を発足させました。黄色いジャンパーを着用した会員は、小中学生に声をかけながら交通安全の街頭指導を行いました。



お花見じゃないよ

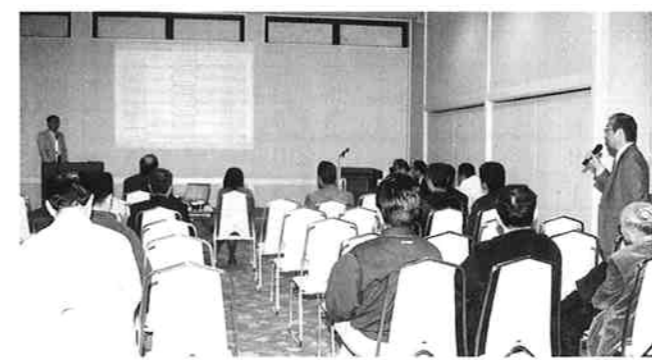
4月17日(土)、毎年恒例の福島潟クリーン作戦が行われました。今年で25回目。堤防沿いに桜が咲き乱れる中、豊栄市・阿賀野市の市民など610人がごみ拾いに汗を流しました。1日で不燃ごみ2.2トン、可燃ごみ2.3トンの計4.5トンのごみが集められました。



心静かにお茶を楽しむ

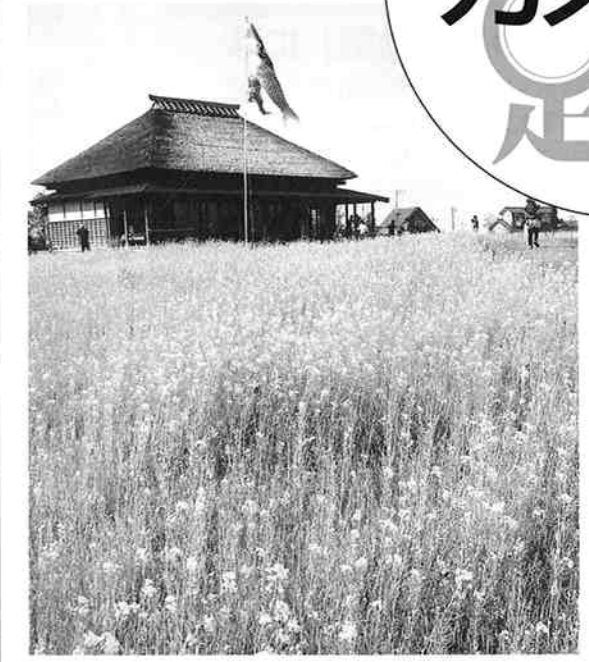
4月11日(日)、中央公民館とふれあいセンターには、4席のお茶席が設けられ、641人が訪れました。すがすがしい快晴に恵まれ、福島潟の菜の花や桜を見てから訪れた人も多かったようです。

恒例のこの市民茶会は第17回を迎え、だれでも気軽に楽しめるお茶会として親しまれています。



駅から広がる「まちづくり」

4月23日(金)、長岡屋で「豊栄駅前生活応援拠点建設に向けたフォーラム」が開催されました。豊栄駅橋上化事業は18年度完成に向け、いよいよ工事が始まります。このチャンスを生かし、大勢の人の率直な意見を持ち寄り、よりよい「まちづくり」を目指そうというもの。TMO(株)まちづくり豊栄は、プロジェクトの立ち上げなどを予定しています。



一面の菜の花にうつとり

今年も、福島潟を一面の菜の花が彩りました。昨年10月にボランティアの皆さんが種をまいたもので、面積は4ヘクタール以上。阿賀野市から姉妹で訪れた井上あゆみさん・さつきさんは「新聞で見て、来てみました。近くにこんなすていお花畑があるなんて」とびっくりした様子。5月上旬まで、訪れる人の目を楽しませてくれました。



いろんな福島潟があるんだね

4月10日(土)から29日(祝)まで、水の駅「ビュー福島潟」で第10回福島潟フォトコンテスト入賞作品展が開かれました。全国的にもレベルが高いといわれている同コンテスト。今年は、県外23人を含む182人から535点の応募がありました。

写真展には幅広い年代の人が訪れ、口々に感嘆の声をあげていました。

- 入賞者(敬称略)
- 福島潟大賞 「空へ」 渡辺 正(松影)
 - 優 秀 賞 「朝陽に打つ」 小野 幸司(新発田市)
 - 「Symmetry」 松井富士夫(新潟市)
 - 入 選 「蓮とヨシゴイ」 石川彰悦雄(上土地亀)
 - 「残雪燃ゆ!」 貝津 浩(新潟市)
 - 「魚網」 金沢 秀夫(新発田市)
 - 「春だ(兄妹)」 佐藤 伸(亀田町)
 - 「日の出を待つ」 佐藤豊太郎(中嘉山団地)
 - 「朝の写人」 佐藤 始(阿賀野市)
 - 「静寂の時」 須田 孝子(柏崎市)
 - 「渦渡る風」 高橋ノリユキ(新潟市)
 - 「葦切りの親子」 中村 和正(白新町)
 - 「狙い定めて」 和久井勝三郎(新津市)
- 佳 作 20点